

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームやすらぎの里

作成日 平成 30 年 3 月 10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、じぎょいうしょ自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事や施設全体行事に利用者と共に参加し交流を深めて行く	地域行事「学校の文化祭・案山子祭等」に参加する。また、施設行事の呼びかけを地域に行い、地域との交流を大切にして行く。	1年間
2	3	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議での意見や指導を、サービス向上に向けた支援に繋げて行く。	グループホームの現状報告や問題点を提起し、参加委員からの実践に向けた意見をもらいながら問題解決に取り組む。	1年間
3	33	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所で出来る事を十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合や終末期のあり方を、本人・家族と話し合い方向性を決定して行く。	重度化した場合の選択肢の中から、本人・家族の思いと主治医の意見を確認し、本人に苦痛の少ない穏やかな日々が送れるよう、主治医や他職種との連携を図る。また、決定事項を書面化し全員で共有する。	1年間
4	36	一人ひとり人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの保護と人格尊重	記録・パソコン(USB)等個人情報取り扱い、保管を徹底し情報の流失を防止する。人格尊重に関しては、言葉かけに注意しプライドを傷つけない接し方を行って行く。	1年間
5	52	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、湿度など)がないように配慮し、生活館や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅での生活と同じような、落ち着いた空間作りを行い、和やかな人間関係を構築できるよう工夫する。	テーブル配置や座席の位置に配慮し、会話やレクリエーションが全員で出来ることで、人との関わりが円滑に運ぶよう支援する。	1年間